

白金庭園 つれづれ

ホテル本館
1F ロビーラウンジ バンブー
B1F 宴会場 マグノリア



庭園散策 at シェラトン都ホテル東京
おすすめスポットを
ご紹介



①池



②文殊菩薩



③東屋



④相生銀杏



⑤チャペル



⑥富士塚

都心に広がる癒しの風景を慈しむ。



「尾張屋板 江戸切絵図」よりの人文社

白金台エリアの歴史

港区・白金台という都心にありながら、心癒される庭園の景色をお楽しみいただける「シェラトン都ホテル東京」。江戸時代まで遡ると、このエリアは田畑とともに広大な敷地を持つ大名屋敷や寺院が多くあり、斜面を中心に当時から緑地や樹木が多くあったことが伺われます。

明治・大正時代になると、実業家たちが邸宅を構え、その地形を生かした庭園を造り上げていきました。当ホテルの前身は、藤山コンツェルンの基礎を築いた実業家・藤山雷太氏の邸宅でありました。

四季のパノラマと異国情緒

ロビーラウンジ バンブーの憩いに彩りを添える、美しい庭園の緑と水辺の潤い。約1,800坪の日本庭園は、斜面上に銀杏や楓などの大樹が生い茂り、四季折々のパノラマを私たちに見せてくれます。

地下1階の出入口から庭園へと歩を進めれば、純和風の佇まいとは少々異なる石塔や菩薩像が所々に立ち現れます。これらは、前述の藤山家のコレクション。異国情緒あふれる形は、台湾など海外にも進出した藤山家の隆盛を今に伝えています。

往時を偲ばせる富士塚を再現

富士塚は、富士山信仰に基づき富士山を模して作られた人工の小山や塚のこと。当時の藤山雷太氏邸の見取り図には、富士塚を思わせる鳥居や祠が記載されており、いわゆる庭園だけでなく、富士塚もあったものと推測されます。

この富士塚が2016年、庭園内に再現されました。富士山の溶岩である黒ぼく石の階段や、四合目、六合目を表す石、烏帽子岩など、まさに小さな富士を思わせる佇まい。ご来館の際には、庭園散策とともにぜひ「白金富士登山」もお楽しみください。

「富士塚」は、富士山信仰を共有する集まりである「講」の人々によって江戸後期から明治期にかけて多く作られた富士山の縮小版の遺構である。黒ぼく石により急峻な階段や石積みが造られ、山頂には祠（ほくら）が配置されるなど、地名を冠した〇〇富士と称されて関東を中心に多く現存している。当ホテルは藤山雷太郎跡地に建設されており、藤山邸の庭園には現在地と思われるあたりに鳥居や祠らしきものが見られ、「富士塚」の特徴をよくあらわしていることから、庭園内に造られた「富士塚」であった可能性が高い。

